

今年も、あと1ヶ月になりました。修学旅行、校外学習、校内音楽会、観劇会(「ちゃんへん」さんのパフォーマンス+人権講演会)など、2学期の行事もひとつひとつおわっていきます。12月18・19・20日は、個人懇談会です。短い時間ではありますが、お子さんの成長のために、保護者の皆様と担任が話し合える機会ですので、よろしくお願いいたします。

あいさつする子  
しっかり学ぶ子  
たのしく遊ぶ子

○小中連携を推進します ○教職員の資質向上 11/1

## 三中校区で研究授業 4年学級会

第三中学校1年生で理科の授業を、東山小学校4年生で学級会の授業を行い、4校の教職員が、2つにわかれて、授業参観をしました。本校の4年生の学級会では、東山まつりのお店を成功させるために、お客さんに喜んでもらえる工夫を話し合いました。司会や発表の仕方や学級会ノートなどを他校の教職員の方にも見ていただきました。その後、グループで授業の感想や情報交換を行いました。



○豊かな心を育みます ○教職員の資質向上 11/20

## 自分の好きな色は 自分の色でいい 1年人権教育

1年生に「すきないろ いっぱい」の教材を使って、色の好みは、固定的なものではなく、様々な個性があることを知り、認め合う心を育みたいと考え、研究授業を行いました。講師の第二中学校の西出佳央先生から、「色をきっかけにして、その背景にあるエピソードをみんなで共感できるようにすることが、人権学習を進めるにあたって大切である」ことをご指導いただきました。



○みんなのいろがわかってうれしかった。みんなすきないろがおなじじゃなくてもいいとおもう。どうしてかという、ひとそれぞれだから。  
○ぼくがしているいろはあるけど、ほかにも、もっとたくさんあるんだ。どんないろがまだあるかな。たのしみ。さがしにいこう。ともだちも、もっとすきないろがあるんだ。

○小中連携を推進します 11/26

## 第三中学校体験入学 6年

○私は、数学の体験をした。担当の先生は明るくて、とても楽しそうだった。5つのおもりの重さを当てる問題は、少し難しかったけど、解き方がわかると、とてもおもしろかった。早く中学校に行つて、たくさん勉強したい。

○クラブ紹介で、私の知らないクラブが見られてよかった。みんなあきらめずに、一生懸命やっているのがわかった。私は、バスケット部に入ろうと思っている。先輩の人たちを見習いたい。

6年生が中学校での生活を聞いたり、各教室に分かれて、中学校の先生の授業を受けたりしました。

○確かな学力と豊かな心を育みます

## 連合音楽会に出演 4年 11/9

4年生は、コスモシアターで、迫力のある「アフリカン・シンフォニー」を演奏してきました。



○「がんばろう」と思って一生懸命演奏しました。演奏が終わってから先生が手を「GOOD」としてくれたので、とってもうれしかったです。

○中学生の人たちは、ぼくたちよりずっときれいな声でした。ぼくも、あんなふうに歌いたいです。

○豊かな心を育みます

## 人との出会いが心をたがやす

### 「ちゃんへん」さんのパフォーマンスとお話 1~6年 11/27

1~6年生が、世界1のジャグリングを見せていただくとともに、あきらめない心の大切さをお話していただきました。保護者の方も参加していただきました。

○ひいおばあさんの話をきいて、本当だなあと思った。ぼくも、サッカーと工作と絵をかくことをがんばっている。(工作と絵は毎日やっている。)これからも、すきなことをがんばる。

○世界で1番むずかしいわざを見せてくれた。しっぱいしていたけど、「がんばれー」っておうえんした。だって、ちゃんへんさんは、ふざけたりしないで、しんげんにやっていたからだ。

○小さい頃、いじめられていたのに、今はパフォーマンスする人にまで、すごくがんばったんだなと思った。2曲の歌で、過去は変えられないけど未来は変えられることが心に残った。

○いつも、5~8時間も練習を続けていて、すごいと思った。私は、お話を聞いて、もう一度、3年生の時にもどして、助けてあげたかった。

○最初のパフォーマンスは「おおお〜」となり、お話は、ちょっと衝撃的で、「えっ」となった。聞いているうちに、なんだか自分の悩みなんかちっぽけに感じてきた。ちゃんへんさんのお母さんが、「すてきな夢を持っている子は、いじめなんかせえへん」と言っていたのを、今後の人生でも大切にしたい。

○ちゃんへんさんの歌がすごく感動した。だって、私なら、自分の過去にあつたいやなことは、人に話したくないし、知られたくないから。お母さんが、ドアから出るときに言った言葉に、すごく心をうたれた。



## 中塚さんに出会って 3年 11/25

○ぼくが、一番不思議に思ったことは、今まで大変な思いをしてきているのに、なぜ、中塚さんはそんなに笑顔でいられるんだろうということだ。でも、話を聞いて、なんとなくわかった気がした。それは、中塚さんの周りのみんなが親切にしてくれたり、手話で話してくれたり、ほかにもいろいろとうれしいことや楽しいことを一緒に経験してきて、「ありがとう」と思っているからだと思う。

## パラリンピックキャラバン 4・5年 11/19

4・5年生が、パラリンピックキャラバン障がい者スポーツ体験講座に参加しました。保護者の方々も参加していただきました。

○くまちゃんやドカちゃんやヨッシーが、とても明るいのが不思議でした。でも、今日の授業でわかったことは、どんなに落ち込んだときも、そのことを受け入れてちょっとずつできることを増やしていけば、幸せな人生を送ることができるということです。

○私は、話を聞いて、もっと前向きで明るい自分になりたいなと思いました。私は、いつもやる前から「ムリ」と思ってしまいます。授業を受けて、「まず、チャレンジしてみよう!」と思うことができました。

### 保護者の方からの感想

きっと、障がいを受け入れるまでの日々は、大変で計り知れない、つらさと努力があったことと思います。しかし、すごく明るくお話しされていたので、驚きとともに、自分の日々の生活を反省する思いでした。何かあるとあきらめてしまう、できない理由をすぐ考えようとする…本当に、できないのか? 違う角度や方法で見つけてみなさい! と教えていただいたようです。すごく貴重な体験とお話をありがとうございました。

